

都市スタジオ「東京2050」4単位

担当教員：羽藤英二・布施孝志・原祐輔（アドバイザー：協力教員：社会基盤学全教員）

グループ TA:植田瑞貴，飯塚卓哉，石井健太，酒井健吾，清水大暉，出原昇馬，米澤実保

【演習の概要】

本演習は、東京の生活・文化・経済に関する歴史的な履歴と、人口減少・高齢化に直面しつつある東京の実情、首都直下地震の被害想定およびそれに対する備えの現状について学習しつつ、実際のフィールドワークを行い、従前の社会基盤の枠組みを超えた広い視野から、多分野の知見を融合させて、事前復興型の空間計画と都市デザインの提案を行うものである。具体的には、文献収集、現地視察、現地調査の事前準備と移動体通信を用いた位置データとパーソントリップデータ解析、及び様々な教員や専門家との議論等を通じて、地理的特性を踏まえた社会基盤（生活基盤、生業基盤、安全基盤）の現状評価と今後の対策提案、都市と地域の空間計画のコンセプト立案を行う。また、こうした一連の演習を通して、研究の基本となる、問題設定→仮説の立案→仮説の検証という一連のプロセスを学ぶと共に、地形図の読図能力や文献調査能力、さまざまなデータの解析手法、現地調査の計画立案・遂行能力、議論及びプレゼンテーション能力を身につける。

なお基礎プロジェクトIは、現地調査を行う。また、夏から冬学期にかけての通年の演習を想定しているため、基礎プロジェクトIと応用プロジェクトIを合わせての受講が望ましい。

【学生定員】

約30名（演習効果を確保する都合上、定員を設定する）。

【指導体制】

都市学、交通学に加え、地域計画学、都市計画学、地域情報学、景観デザイン学、海岸工学、河川工学、環境工学、構造工学、コンクリート工学、地盤工学などに関わる、社会基盤学専攻の教員に幅広く参加してもらう。また、行政・事業者・コンサルタント・プランナーの方から話題提供を頂き、現地での意見交換会も実施する。また、本演習を受講した学生をTAとして、本演習の指導を補助してもらう。なお、本カリキュラムの策定や成果の地元還元もこの研究チームが主体となって行う。

【演習中に取り組む課題と時期】

夏学期（基礎プロジェクトI）

「総合テーマ：空間計画と都市デザインの基礎を修得し、都市計画を策定する」

課題(1) 街歩きを行い、都市空間の特徴と課題抽出、およびその表現を行う（4～5月）

本課題では、まち歩き（4月14-15日調査，4月20日報告会）を基本とする都市空間の特徴抽出に加え、地図を使った課題抽出、およびその表現技術の修得を行う（5月10日〆切，5月11日発表会）。まず設計基礎となる図学について、a)レイアウトの目的、b)平面図・立面図・断面図の配置の原則、c)方位・スケール、d)図面の描き方を修得すると共に、（4月）。次に都市空間の分析方法について、a)路地や建物、公共空間から構成される都市空間の形、b)デザインサーベイの方法、c)建物の塗り分け、d)要素の分布とプロット、e)領域の可視化、f)空間構造の分析、g)地形分析、h)パターンランゲージ、i)空間の歴史、j)敷地割の分析、k)流動の記述と分析、l)添景・シークエンスの分析、m)古地図や史料を使った都市空間分析の方法をレイヤー分析と地区の空間分析を通じて修得する(5月)。

課題(2) 現地調査計画の立案と実施、都市空間の問題・特徴を把握する（5～6月）

テーマごとに班分けを行い、班ごとに調査テーマを設定した上で、具体的な調査計画を立案し、池袋駅を中心とする敷地状況について、社会基盤の現状調査を実施する。対象敷地の基本特性に着目して、地区の空間計画の実態分析と交通分析を行う。事前に地区の都市計画マスタープランについて把握した上で、他地区の事例や交通計画のスタディもを行い、当該地区の課題・コンセプトについて発表する（個人課題6月14日〆切，6月15日発表）。

課題(3) 交通分析と都市計画コンセプトの立案（6～7月）

次に、具体的な都市計画の立案方法について、a)人口予測、b)土地利用分析、c)地理分析、d)都市施設分析、e)災害分析、f)交通OD分析、g)均衡配分、h)プローブデータ分析を修得する（5-6月）。これらの基礎に基づいた地方の都市計画および社会基盤計画の他地域の事例についてもスタディを行い（個人課題6月14日〆切，6月15日発表）、修得した高度な分析結果をもとに都市計画のコンセプトを班ごとに議論し、

その成果をまとめる（6月8日中間発表，7月6日最終発表）．以上の内容を発表した後、発表時の議論を踏まえて班でレポートにまとめる．本課題を通して、問題設定とその解決方法の提案を行い、それを人に伝えるプレゼンテーションの練習をする．また、グループ討議と作業計画の立案・管理を通じてマネジメント能力の涵養を図る（7月13日〆切）

冬

【詳細なスケジュール】

{基礎プロジェクトI}

- 4/06 ガイダンス・「地図を読む，コンセプトをまとめる」（羽藤）
- 4/13 班分けと調査計画（羽藤/TA）
- 4/14-15 現地調査（a）空間計画，b）交通計画，c）コミュニティ等に仕分け，各班5-6人を目安とする）
- 4/20 調査報告（羽藤/TA）
- 4/27 「レイヤー分析による地域課題の抽出のエスキース」羽藤，グループ分け
- 5/11 「レイヤー分析の発表会（地域の課題とその抽出，解決方法」（羽藤/TA）
- 5/18 「地区の交通と暮らしの分析：エスキース」（休講，希望者がいれば羽藤の居室でやります）
- 5/25 「地区の課題抽出とコンセプトの整理Ⅰ」：
- 5/29 「地区の課題抽出とコンセプトの整理Ⅱ」：エスキース
- 6/08 中間発表
- 6/15 「模擬ワークショップ（個人課題の提出と議論）」
- 6/22 「空間計画・都市デザインの立案」：エスキース
- 6/29 「空間計画・都市デザインの立案」：エスキース
- 7/06 発表・外部専門家講評会
- 7/13 プラン修正日

※レイヤー分析課題：1)自分の住んでいる場所，住んでいた場所を選んで，2)地図を購入し，トレーシングペーパーに地形，拠点施設，交通，土地利用を記入する．3)各情報を関連付けて地域分析を行った上で，4)課題抽出を行い，敷地の空間計画コンセプトの提案を行う．